

山形県公立小中学校事務職員研究協議会

第4回研究大会 兼 県協議会設立20年記念大会

参加者の声

令和4年8月2日（火）山形国際交流プラザにて、山形県公立小中学校事務職員研究協議会第4回研究大会が開催されました。今回は平成15年の協議会設立から20年の記念大会でもありました。また今回初めて、「会場参加」と「Zoom参加」による「ハイブリッド形式」での開催でした。

記念すべき研究大会の感想を4名の方からいただきましたのでご紹介します。



学校事務職員のウイングを広げる
～変容する学校経営の中で～
川口有美子氏



地域とともにある学校づくりと
事務職員の役割
赤松梨江子氏

協議会が設立された平成15年、私は学校事務職員として採用されました。協議会と共に20年を迎えられたことを大変嬉しく思います。残念ながらZoomでの参加となってしまいましたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。

学校事務職員は事務に「従事する」から「つかさどる」に変わり、職務の在り方を考えさせられる時代となりました。そんななか、ご講演いただいた先生方の話はとても興味深く、勉強になりました。学校事務の12の基礎力というのがとても心に残りました。自分に足りない文脈理解力、専門構築力、相談力、教授力、仲介調整力…ほとんど足りていませんが、これからの仕事に生かしていこうと思います。本校でもコミュニティスクールを導入する予定です。事務職員として関わられる部分は実はとても多いということを教えていただきました。教員ではないから…と、どこか一線を引いていましたが、積極的に参加していこうと思います。

私の決意表明のような文章になってしまいましたが、このような研修の機会をいただきありがとうございました。

大蔵村立大蔵小学校 杏澤 愛 主査

今回の研究大会ではお二人の講師からお話を伺うことができ、たくさんの学びを得ることができました。

講演の中で、コミュニティスクールで実際に経験された活動内容や事務職員としての役割を聞いたことで、漠然としていたイメージが輪郭を持ったように思います。勤務校ではまだコミュニティスクールは始まっていませんが、まずは対話を大切に、一人一人の声を丁寧に拾っていききたいと思います。

研究テーマにもある「山形っ子の笑顔のために」仕事をするという基本を、事務処理に追われているとどうしても忘れがちになってしまいますが、今回の研究大会で再確認できました。山形っ子の幸せにつなげることができるよう、事務職員だからできること、事務職員にしかできないことは何かを模索しながら挑戦していききたいと思います。

コロナ禍のなか、大変貴重な学びの場を設けていただき、ありがとうございました。

上山市立宮川中学校
山川 夏実 主事

私は地域と学校のつながりについて、日頃関心を持っていました。そんな折、今大会のテーマが「子ども・家庭・地域・関係機関とともに学びの環境づくりに取り組もう」だと知り、早速参加させていただきました。

赤松さんの講演を聞いて、たくさんの人と関わっていききたいと思いました。すべては、対話から始まるとありました。チーム学校の一員として対話を大切にしながら教職員や保護者と一緒に地域の子どもの育成について考えていきたいです。

また、川口さんの講演では、ウイングを広げるとありました。私が持っているスキル・知見等を、事務職員だけではなく学校・地域にも生かして積極的に学校づくりへ貢献していききたいと思います。

学校はマネジメントの総力です。自分一人で頑張るのではなく、みんなで頑張っていく。そして新しいことにどんどんチャレンジしていきます。

高畠町立屋代小学校
後藤 祐知 主事

今年の研究大会では、子どもの学びの場である学校の環境づくりにどのように携わっていけるのか思いを巡らせる一日となりました。

県協議会が発足して20年のこれまでの歩みから、先輩方の積み重ねてきた学校事務職員としての想いが伝わってきました。私たちの仕事の真ん中には、常に子どもの姿があり、子どもの育ちを支えていく学校事務としての取り組みを共有することができました。

研究部レポート発表から、具体的な実践を伺うことができ、実践力をつけたい力の一つとして確認することが、仕事への大きな自信にもつながっていくと感じました。

赤松先生のあたたかな拍手から始まったエネルギーあふれる講演に、学校教育を支えていく私たちの役割も大きいと元気をいただきました。前向きなビジョンを持ち、目的までの距離感を考察し、ピンチの時は共に話し合う。子ども・家庭・地域と、今後も人とのつながりを大事に、仕事をしていききたいと思います。

鶴岡市立榎引西小学校 加藤 淳子 事務主査

新規採用事務職員紹介

Part 1

今年度の新規採用職員（12名）を、今号67号と次号68号の2回で紹介します。
今回は、6名の方々に自己紹介をいただきました。

- ① 名前 ② 所属校 ③ 出身地 ④ 趣味・特技 ⑤ 好きな食べ物 ⑥ 好きな言葉
⑦ 7か月間過ごして思ったこと a.嬉しかったこと b.困ったこと c.びっくりしたこと

- ① 酒井 和真（さかい かずま）
② 山形市立第四中学校
③ 山形市
④ 海外サッカー視聴、音楽を聴くこと
⑤ 抹茶以外のスイーツ、脂っこくない肉
⑥ Passion（パッション）
⑦ a.また給食を食べられたこと。
b.電話対応で必ず緊張してしまい、かんでしまうことが多いこと。
c.給食のプロッコリーに、マヨネーズではなく胡麻ドレッシングが出てきたこと。

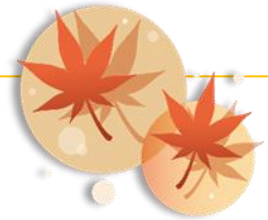
- ① 海和 すずか（かいわ すずか）
② 山形市立第五中学校
③ 山形市
④ カフェ巡り、河原で楽器を吹くこと
⑤ ふわふわのオムライス
⑥ やらない後悔よりやって後悔
⑦ a.先生方からの質問に答えられるようになってきたこと。
b.運動不足になっていること。
c.学校では様々な勤務形態の職員が働いていること。

- ① 伊藤 貴洋（いとう たかひろ）
② 鶴岡市立渡前小学校
③ 酒田市
④ キャンプ、卓球
⑤ すいか、和梨
⑥ 情けは人の為ならず
⑦ a.会計差引でちゃんと「0」になったこと。
b.給食をたくさん食べているのに痩せたこと。
c.勤務初日、机の上にあった大量の書類に驚きを超えて笑ったこと。





- ① 菅原 勇太 (すがわら ゆうた)
- ② 鶴岡市立櫛引南小学校
- ③ 鶴岡市
- ④ 釣り、バスケットボール
- ⑤ 寿司、焼き肉
- ⑥ 諦めたらそこで試合終了
- ⑦ a. 少しずつだが、仕事内容を覚えられたこと。子どもたちに名前を覚えてもらったこと。
b. 4月当初の何も分からない時に、初めて会う先生方と仕事をするのがとても不安で大変だった。
c. エクセルやワードに今まで使ったことがなかった機能が多々あったこと。



- ① 木村 ふみ (きむら ふみ)
- ② 小国町立叶水小・中学校
- ③ 長井市
- ④ ドラマ鑑賞、アイドルの応援
- ⑤ サーモンのお寿司
- ⑥ ケセラセラ
- ⑦ a. かわいい子どもたちに“ふみ先生”と呼んでもらえること。思わず笑みがこぼれます。
b. 給食の量が多いこと。人数が少ないので、余りが出ると、頑張っても食べきれません。おいしいのに…。
c. 小学1年生の成長スピードが速いこと。あんなに小さかった1年生が今では中学生に負けずに一緒に遊んでいます。

- ① 佐藤 大翔 (さとう ひろと)
- ② 南陽市立荻小学校
- ③ 米沢市
- ④ 筋トレ、水泳
- ⑤ ザクザクのからあげ
- ⑥ 挑戦
- ⑦ a. 様々な仕事でできることが増えてきて自らの成長を少しずつ感じられていること。先生・子どもたち・地区の方々とのコミュニケーションが増えてきたこと。
b. 仕事をしていると、いたるところに難しい言葉が出てくること。
c. 児童から持ち掛けてくれた初めての会話が「先生って腹筋割れてますか？」だったこと。





「後悔先に立たず」

山形市立第三中学校 神保 明子

「コーヒーが冷めないうちに」、映画にもなりましたよね。この続編の「さよならも言えないうちに」をご紹介します。

日々は選択の連続です。例えば、朝起きたら窓を開けるかトイレに行くか。夕食はカレーにしようかお魚にしようか。手術しようか薬で治療を続けるか。あの時あの人にあんなこと言うつもりなかったのに。などなど。

その分かれ道でどんな選択をするのか決めるのは自分自身です。じっくり選択できるときもあれば、感情的に思ってもいない選択をしてしまうときなど、状況も様々。そして、どんな選択をしても多かれ少なかれ後悔はつきもの（一点の曇りもない選択をするときもあるとは思いますが）。

巻き戻したいなあ～。なんて思ったことありませんか？

短編4話で文字も少なめ。気構えなく読めるのでおすすめです。この秋、感傷に浸ってみてはいかがでしょうか？

紹介本：「さよならも言えないうちに」 川口 俊和



「心に染みる！ 癒しの2冊」

ペンネーム：月の花が咲くころに

ついこの間まで暑かったのに…あっという間に季節はめぐり、気づけば11月も折り返しとなりました。

日々の業務に追われ、息つく暇もない！ …そんな方におすすめしたいのは、「四月は君の嘘」。漫画なので、活字に触れるのがつらいときでもさりと読むことができます。

主人公は中学3年生の天才ピアニスト。トラウマでピアノが弾けなくなった彼の前に現れたのは、同じ歳の破天荒なバイオリニストの女の子です。彼女に振り回されながら、次第にトラウマを克服していく主人公に心打たれます。ストーリーはもちろん、彼らの演奏が聞こえてくるかのようなイラストも魅力です。

また、もう一つおすすめしたいのが、「おしまいのデート」。こちらは瀬尾まいこさんが書かれたもので、全部で5つの短編からなる本です。孫とおじいちゃん、先生と生徒など、恋人ではないけれど大切な人同士の出会いと別れを描いています。どのお話もじんわり心に染みわたり、あたたかい気持ちになります。

どちらも素敵な本です。長い夜のおともにいかがですか？

紹介本：「四月は君の嘘」 新川 直司

「おしまいのデート」 瀬尾まいこ

ねっとわ〜く from 飯豊町

「いいでの子 大したもんだプロジェクト」のご紹介

第5次飯豊町総合計画の重点として取り組む10のプロジェクトの一つに「いいでの子 大したもんだプロジェクト」があります。取り組みの主な内容をご紹介します。



☆算数・数学難問クイズにチャレンジ

毎月、町教育委員会で作成した難問に自ら挑戦。年間を通して優秀な成績だった人を町教育委員会で表彰。

☆「算数・数学検定」「漢字検定」にチャレンジ

今年度はそれぞれの検定3級受検者に町が受検料を補助（補助対象は中学生のみ）。

☆町の自慢を紹介しよう

東京外国語大学と手ノ子小学校との交流で飯豊町を英語で紹介。中学生が町内で化石発掘に挑戦。どちらも町HPで公開しています。

☆めざせ！いいでの物語り達人〜いいでのナゾとき・まち歩きワークショップ

今年度は10月10日（月・祝）に開催。「米沢牛」と「飯豊町に影響を与えた明治の2人の英人」についての謎解きミッションに挑戦。

たくましい「がってしない」子どもを育てるため、家庭、教育機関、地域、各種団体等の協力により様々な取り組みが行われています。飯豊の子どもが多くの人から「それはたいしたもんだなあ」と言われるような、自分が誇れる実績をあげられる活躍ができるよう飯豊町全体で子どもたちの頑張りを応援しています。

⇒町HPにも紹介されていますのでご覧ください。<http://www.town.iide.yamagata.jp>

学校紹介 ～飯豊町立添川小学校・第一小学校

飯豊町には小学校4校、中学校1校があります。今回は2校をご紹介します。

飯豊町立添川小学校

R4年度児童数 54名

- ◇ みどりの少年団活動
- ◇ 地区との合同運動会
- ◇ 児童センター・福祉施設との交流
- ◇ 公民館との合同文化祭

など、SDGsを意識し、地域に根ざした豊かな体験活動を行っています。



学校林活動～樹木の観察

飯豊町立第一小学校

R4年度児童数 170名

今年度は「宇宙アサガオの種りレー推進プロジェクト」に取り組んでいます。宇宙飛行士の山崎直子氏とともに宇宙を旅して日本に帰還したアサガオの種を植え、8月にはきれいな花を咲かせました。

